

# アーカイブ No.3 浜の宮

アーカイブとは、重要記録を保存・活用し、未来に伝達することです。

大方・浜の宮地区は昔から入野松原を暴風林とし、松原と共に暮らして来ました。昭和20年代中頃までは半農半漁の暮らしでしたが、今は時代の波に押され漁業は行われていません。



## 守政津波の碑

八幡宮の境内に、1854年(安政4年)に起きた安政の地震で、地元の若者たちが津波の恐ろしさを後世に警告として碑を建立しています。



## 加茂八幡宮

1599年頃、八幡宮と加茂神社の合祀により加茂八幡宮となったと考えられています。祭りは古くは田楽舞、流鏝馬、相撲、神楽等々が行われていたそうです。現在は夏、秋祭りと、1月15日にはどんど焼きがあり沢山の人で賑わいます。



## 名勝 入野松原

1926年内務省が指定しています。松原の起源は長曾我部元親の重臣が罪囚に植えさせたとされています。宝永地震の被害や戦争中陸軍から伐採命令が出された時も、人々の懸命の努力によって守られてきました。



## 地域の憩いの場

あかつき館の東側には広場があり、春は桜が咲き、老人クラブ等がお花見をします。日頃はペタンク場としても使われ、いつも地域の人達で賑わっています。



## 地曳網漁業

昭和20年代半ば頃まで行われており、当時、浜の宮の網元は3軒ありました。仕掛けた網を、砂浜からろくろを皆で回して曳く漁で、取れた魚を仲買人に買ってもらい、貴重な現金収入でした。それを天秤棒で担いで届けるのも大事な収入で、高い賃は当時の20円にもなったそうです。

## 夏・秋まつり

加茂神社のお祭りは入野地区全部で祝いますが、神社に捧げる花取り踊りは浜の宮だけに任されています。戦後、しばらくは農耕馬2頭が輿道と参道を駆け抜け、祭りを盛り上げていました。道を開けるに鼻高が棒で多くの見物客を除けるのも楽しみの一つでした。

## 編集後記

3月定例会では、学校の休校もある中、新型コロナウイルスの拡散防止を期した対策があり、議員にも一般質問の質問数を減らす議員が出るなど、全般的に時間短縮を意識したものとなりました。

その後も感染は拡大し、全国に「緊急事態宣言」が発出されるなど、今回の見えない敵には、前例がないことも相まって、その対応にはいまだ五里霧中の感もあります。が、こういう時こそ、私たち議員も立場を忘れて、住民と一丸となつて、この難局を乗り越えなければなりません。

(宮川 徳光)

## 議会広報常任委員会

委員長	浅野 修一
副委員長	宮地 葉子
委員	奥本 哲也
同	中島 一郎
同	濱村 美香
同	宮川 徳光

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

発行人 高知県黒潮町議会  
編集 黒潮町議会広報常任委員会  
住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

発行日 令和2年5月1日